

テーマ・神の平安が心と意思を守るのだから祈りなさい。 Pr. Shugeru Sugano

聖書箇所・ピリピ書 4章4節～9節

人生には突然いろいろなことが起こります。今は世界中でコロナウイルスの病気で大変です。この時にこそイエス・キリストを信じて硬く立つ時です。

ピリピ書は喜の手紙でパウロが牢屋に捕われていた時に書きました。

4節・捕われている時でも喜べるとは聖霊の実です。それは救いの喜びです。自分の自己中心の罪がしめされ、その罪のためにキリストが十字架で死に自分の罪がゆるされ聖霊が心の中におられるという確信が喜びとなります。

5節・すべての人に寛容であることは他人の罪をゆるし忍耐を持ち神の愛をもち、交わることです。

6節・思い煩うな・イエスはマタイ伝の6章25節から34節で言われていますが、空の鳥また野の花を見て神が支えているその愛を知ることすすめています。

思い煩いからの解放はイエス・キリストを信じて、すべての事に神様の支配と導きを信じることです。

人は弱い者ですから大きな問題に会うと不安になりますし、また思い煩いますがその時にこそ神を信頼して祈る時です。また過去をふりかえりますと沢山のめぐみ受けたことがわかるので感謝の心が持てます。聖歌604番 かぞえて見よ主のめぐみ。

思いわずらいは危険です。感情が不安定になり恐れのおもてがでてくるので物事の観察や理解がただしくできなくなりまた判断をまちがえたり気持ちがゆれうごき行いが安定しなくなるからです。神はあなたがたをかえりみてくださるのであるから、自分の思いわずらいを、いつさい神にゆだねるがよい。(第一ペテロ5章7節。)

7節・キリストからくる神の平安が心と意思をまもるのです。

神からくる平安は人の考えをはるかにこえたもので聖霊があたえてくれるのです。

この世があたえる平安とはちがいます。ヨハネ伝14章27節

心と意思を不安や恐れからまもるのは自分の考え努力ではありません。神からくる恵みです。キリストの愛にとらわれているという信仰です。今は人びとがウイルスによる死の

おそれ とら 恐れに捕われています。あい もの わか おお かな かいほう 愛する者との別れは大きな悲しみです。これからの解放はイエスの じゅうじか ふっかつ しん 十字架と復活を信じることです。ヨハネ伝5章24節 「わたしをつかわされたかたを信じる者は、えいえん いのち う 永遠の命を受け、さばかれることがなく死から命にうつされている」。イエスの じゅうじか み が 十字架は身代わりの愛をあらわしますが、ただ つみ 正しい神は罪をさばかれるということもあらわしています。びょうき おそ 病気の病気も恐ろしいものですが、さらに恐ろしいものは罪です。びょうき し つみ おそ 病気で死ぬということも恐ろしいものですが、罪の恐ろしさは永遠の へい えいえん ほろ 亡びです。しかし罪のない つかみ かみ こ 神の子イエスが人間を罪と死から じんげん つみ し すく 救うためにこの世に来てくださいました。(ヨハネ伝3章18節) そして えいえん いのち え みち ひら 永遠の命を得る道を開いてくれました(ヨハネ伝11章25節)。「わたしはよみがえりであり、いのち 命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでもい 生きる」。

8節-9節 せつ せつ しんじつ こと ただ よ 8節-9節 真実な事、正しいこと、良い事、ほまれある事をよく こと まな まな こと 学び、学んだ事を じっこう 実行することです。そうすれば へいわ かみ とも 平和の神が共にいてくれます。

たたか びょうき せいじ けいざい もんだい まいにち ふそく で この戦いは病気ですが、政治と経済の問題が出て、毎日の食べ物やいろいろな不足が出て ふあん おも とら 不安な思いに捕われて め み 見える せかい 世界だけでなく せい 霊の戦いの中へと入りますが かい 神の ぶぐ と 武具を取ることが 必要です。えいしょ 10-20 エペソ書6章10-20。

しゅ いたい ちから つよ ぶぐ なか たま かみ 主にあって、その偉大な力により強くなり、武具の中でもみ 霊のつぎの神の ことばを と 取ることです。そのためには せいしょ よ 聖書をよく読むことです。そしてすべての せいと 聖徒のために いの 祈り 続けることです。とく いま おおぜい ひとびと 特に今は大勢の人々が ため な ビールスの為にながさめ 亡くなりましたが、あい もの 愛する者との しぶつ おお かな 死別は大きな悲しみです。そのご遺族のために いぞく かみさま 神様からの なぐさめ いの 慰めを 祈りたいと おも 思います。また いしゃ かんごふ た 医者や看護婦のかたのためにも いの 祈りましょう。そして はや よ くすり 早く良い薬がみつかることを ねが 願うものです。

この たたか しゅ 戦いに主にありて しょうり え 勝利を得ましょう。

すがのしげる 菅野繁